



2027年1月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年9月11日

上場会社名 Japan Eyewear Holdings株式会社
 コード番号 5889 URL <https://www.japan-eyewear-holdings.co.jp/>
 代表者 （役職名） 代表取締役CEO （氏名） 金子 真也
 問合せ先責任者 （役職名） 取締役CFO （氏名） 柴田 俊一 TEL 03 (6411) 0919
 半期報告書提出予定日 2026年9月14日 配当支払開始予定日 2026年10月5日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2027年1月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年2月1日～2026年7月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年1月期中間期	10,258	14.8	3,503	21.4	3,311	21.4	2,241	28.5	2,241	28.5	2,269	31.4
2026年1月期中間期	8,937	7.7	2,886	4.8	2,727	9.9	1,743	4.0	1,743	4.0	1,727	1.0

	EBITDA※		基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	百万円	％	円 銭	円 銭
2027年1月期中間期	4,510	18.2	92.67	91.42
2026年1月期中間期	3,814	7.0	72.29	71.15

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋識別可能資産償却費

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	％
2027年1月期中間期	41,177	19,506	19,506	47.4
2026年1月期	39,911	18,187	18,187	45.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年1月期	—	42.00	—	42.00	84.00
2027年1月期	—	43.00			
2027年1月期（予想）			—	43.00	86.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年1月期の連結業績予想（2026年2月1日～2027年1月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		EBITDA	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	20,600	10.5	6,800	14.2	6,500	15.6	4,400	16.3	4,400	16.3	8,600	182.32

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年1月期中間期	24,244,460株	2026年1月期	24,133,560株
② 期末自己株式数	2027年1月期中間期	80株	2026年1月期	80株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年1月期中間期	24,186,621株	2026年1月期中間期	24,120,148株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 当社グループは、国際会計基準を適用しております。
- (2) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- (3) 2026年9月11日に当社ウェブサイト（<https://www.japan-eyewear-holdings.co.jp/>）に決算説明資料を掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 要約中間連結財政状態計算書	3
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書	4
(3) 要約中間連結持分変動計算書	6
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報)	8
(1株当たり利益)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社グループは、世界を代表する眼鏡生産地「福井・鯖江」の熟練したクラフツマンシップにより自社で企画・デザインする高品質のアイウェアを製造し、ブランドの世界観を表現した独自の店舗を中心に販売しております。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、所得・雇用環境の改善などに伴い、緩やかな回復基調が続きました。一方で、物価上昇の継続による個人消費への影響が懸念されるとともに、世界経済においては、欧州や中東における地政学的リスクの高まり、金融資本市場の変動、米国の政策動向に加え、日中関係の緊張等がインバウンド需要や国内外の消費動向へ影響を及ぼす可能性もあることから、依然として先行き不透明な状況が続いております。また、消費者の購買行動におきましても、商品の本質的な価値や質の高さを重視する傾向が広がっております。

このような状況下で当社グループは、「国内外における新規出店の推進」、「フレーム販売価格の見直し等を通じた一式単価の上昇」、および「多様化するインバウンド需要の着実な取り込み」を軸として事業展開を継続しており、当社グループの主要ブランドである金子眼鏡、フォーナインズともに国内外のお客様から高い支持をいただいております。さらに、2026年7月には、当社のモノづくりの原点であり、ブランドのルーツである福井県鯖江市にフラッグシップ店となる「金子眼鏡店 鯖江本店」をオープンするなど、グループ全体のブランド価値向上に向けた取り組みを推進いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上収益10,258百万円（前年同期比14.8%増）、営業利益3,503百万円（前年同期比21.4%増）、税引前中間利益3,311百万円（前年同期比21.4%増）、中間利益2,241百万円（前年同期比28.5%増）となりました。

当中間連結会計期間における事業セグメント別の売上収益の状況は以下のとおりであります。

〔金子眼鏡〕

金子眼鏡グループでは、国内外におけるブランドの浸透に伴い、直営店舗での販売が引き続き堅調に推移いたしました。インバウンド顧客向け販売につきましても、訪日客層の変化に柔軟に対応し、安定的に推移しております。海外展開におきましても、アジア圏を中心とする直営店舗が現地のお客様から高い支持を獲得し、順調に推移しております。当中間連結会計期間において新規出店計2店舗（国内1店舗、海外1店舗）及び退店1店舗を実施した結果、店舗数は95店舗（国内84店舗、海外11店舗）となりました。なお、2026年4月には中国5号店となる「金子眼鏡店 杭州恒隆広場」をオープンしております。

以上の結果、金子眼鏡事業の売上収益は7,061百万円（前年同期比20.2%増）、セグメント利益は2,794百万円（前年同期比25.6%増）となりました。

〔フォーナインズ〕

フォーナインズグループでは、お客様の高い支持が継続しており直営店舗での販売が順調に推移いたしました。特に、ブランド認知の向上と顧客接点の拡大に向けた国内直営店の出店強化を積極的に推進しており、当中間連結会計期間において国内新規出店3店舗を実施した結果、店舗数は22店舗（国内21店舗、海外1店舗）となりました。また、国内卸売上につきましても、4月に実施した新型商品展示会等を通じて前年並みの水準を維持いたしました。一方で海外卸売上につきましても、一部の売上計上時期が翌四半期へ繰り越しとなった影響に加え、協力工場からの一時的な納期遅延の影響も重なり、前年同期を下回る結果となりました。引き続き、環境変化に対応しやすい経営体質への転換を目指し、コスト改善にも継続的に取り組んでまいります。

以上の結果、フォーナインズ事業の売上収益は3,196百万円（前年同期比4.5%増）、セグメント利益は970百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,266百万円増加し、41,177百万円となりました。これは主に、現金及び現金同等物が562百万円増加、使用権資産が487百万円増加、有形固定資産が326百万円増加したことなどによるものです。

当中間連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ52百万円減少し、21,671百万円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が10,971百万円減少、借入金が10,686百万円増加、リース負債（非流動）が420百万円増加したことなどによるものです。

当中間連結会計期間末の資本合計は、前連結会計年度末に比べ1,318百万円増加し、19,506百万円となりました。これは主に、中間利益2,241百万円を計上、配当金1,013百万円の支払をしたことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年1月期の連結業績予想につきましては、2026年3月13日に公表した数値から変更はありません。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年1月31日)	当中間連結会計期間 (2026年7月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	3,054	3,617
営業債権及びその他の債権	1,707	1,547
棚卸資産	2,416	2,660
その他の流動資産	161	174
流動資産合計	7,340	7,999
非流動資産		
有形固定資産	5,209	5,535
使用権資産	3,983	4,470
のれん	14,332	14,332
商標権	5,897	5,897
その他の無形資産	310	297
その他の金融資産	1,983	1,979
繰延税金資産	667	585
その他の非流動資産	187	80
非流動資産合計	32,570	33,178
資産合計	39,911	41,177
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	709	814
1年内返済予定の長期借入金	11,921	950
引当金	21	—
リース負債	1,237	1,332
未払法人所得税	1,055	1,031
契約負債	580	447
その他の流動負債	1,045	834
流動負債合計	16,570	5,409
非流動負債		
借入金	—	10,686
リース負債	2,446	2,866
引当金	51	53
繰延税金負債	2,154	2,154
その他の非流動負債	500	500
非流動負債合計	5,152	16,261
負債合計	21,723	21,671
資本		
資本金	949	978
資本剰余金	7,535	7,570
利益剰余金	9,552	10,780
自己株式	△0	△0
その他の資本の構成要素	149	177
親会社の所有者に帰属する持分合計	18,187	19,506
資本合計	18,187	19,506
負債及び資本合計	39,911	41,177

(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書
(要約中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年7月31日)
売上収益	8,937	10,258
売上原価	1,874	2,195
売上総利益	7,062	8,063
販売費及び一般管理費	4,180	4,651
その他の収益	16	92
その他の費用	11	1
営業利益	2,886	3,503
金融収益	2	2
金融費用	161	195
税引前中間利益	2,727	3,311
法人所得税費用	984	1,070
中間利益	1,743	2,241
中間利益の帰属		
親会社の所有者	1,743	2,241
非支配持分	—	—
中間利益	1,743	2,241
1株当たり中間利益		
基本的1株当たり中間利益(円)	72.29	92.67
希薄化後1株当たり中間利益(円)	71.15	91.42

（要約中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年7月31日)
中間利益	1,743	2,241
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金 融資産	—	—
純損益に振り替えられることのない項目合計	—	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△16	28
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△16	28
税引後その他の包括利益	△16	28
中間包括利益	1,727	2,269
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,727	2,269
非支配持分	—	—
中間包括利益	1,727	2,269

(3) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素		
2025年2月1日残高	943	9,602	5,769	—	106	16,421	16,421
中間利益	—	—	1,743	—	—	1,743	1,743
その他の包括利益	—	—	—	—	△16	△16	△16
中間包括利益合計	—	—	1,743	—	△16	1,727	1,727
剰余金の配当	—	△1,060	—	—	—	△1,060	△1,060
新株予約権の行使	4	5	—	—	△1	8	8
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0	△0
利益剰余金から資本剰余金への振替	—	2	△2	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	4	△1,053	△2	△0	△1	△1,052	△1,052
2025年7月31日残高	947	8,549	7,510	△0	88	17,095	17,095

当中間連結会計期間(自 2026年2月1日 至 2026年7月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素		
2026年2月1日残高	949	7,535	9,552	△0	149	18,187	18,187
中間利益	—	—	2,241	—	—	2,241	2,241
その他の包括利益	—	—	—	—	28	28	28
中間包括利益合計	—	—	2,241	—	28	2,269	2,269
剰余金の配当	—	—	△1,013	—	—	△1,013	△1,013
株式報酬取引	—	—	—	—	5	5	5
新株予約権の行使	28	34	—	—	△6	57	57
所有者との取引額等合計	28	34	△1,013	—	△1	△950	△950
2026年7月31日残高	978	7,570	10,780	△0	177	19,506	19,506

(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	2,727	3,311
減価償却費及び償却費	928	1,006
受取利息及び受取配当金	△2	△2
支払利息	161	195
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	84	168
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△57	△49
棚卸資産の増減額(△は増加)	△204	△244
その他	△116	△460
小計	3,520	3,924
利息の受取額	2	2
配当金の受取額	—	0
利息の支払額	△135	△118
法人所得税の支払額	△1,103	△1,031
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,283	2,776
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△777	△409
無形資産の取得による支出	△0	△0
敷金及び保証金の差入による支出	△32	△50
敷金及び保証金の回収による収入	37	35
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△654	—
助成金の受取額	—	34
保険積立金の解約による収入	—	143
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,427	△247
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	500	—
長期借入れによる収入	—	11,950
長期借入金の返済による支出	△475	△12,187
リース負債の返済による支出	△696	△749
配当金の支払額	△1,060	△985
新株予約権の行使による収入	8	57
コミットメントライン関連費用の支払額	—	△85
自己株式の取得による支出	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,724	△2,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17	34
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△884	562
現金及び現金同等物の期首残高	3,931	3,054
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,047	3,617

(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会(最高経営意思決定者)が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっております。

当社グループは、主に眼鏡製品を販売しており、2つのブランドカテゴリー(金子眼鏡、フォーナインズ)を中心に事業活動を展開しています。そのうえで、各ブランドの責任者が、ブランドごとに幅広い権限と、売上・利益への責任を持ち、機動的な意思決定を行っていることから、当社のセグメントはブランドを主として「金子眼鏡事業」「フォーナインズ事業」の2つを報告セグメントとしています。

「金子眼鏡事業」は、金子眼鏡ブランドにおけるブランドカテゴリー別事業を包括しています。

「フォーナインズ事業」は、フォーナインズブランドにおけるブランドカテゴリー別事業を包括しています。

セグメントの会計処理の方法は、当社グループの会計方針と同じであります。報告セグメントの利益は、要約中間連結損益計算書上の営業利益であります。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益または損失、その他の重要な項目の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	連結
	金子眼鏡	フォーナインズ	計		
売上収益					
外部収益	5,876	3,060	8,937	—	8,937
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	5,876	3,060	8,937	—	8,937
セグメント利益	2,224	945	3,170	△283	2,886
金融収益	—	—	—	—	2
金融費用	—	—	—	—	161
税引前中間利益	—	—	—	—	2,727
その他の項目					
減価償却費及び償却費	640	271	911	16	928

(注) セグメント利益の調整額△283百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当中間連結会計期間(自 2026年2月1日 至 2026年7月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	連結
	金子眼鏡	フォーナインズ	計		
売上収益					
外部収益	7,061	3,196	10,258	—	10,258
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	7,061	3,196	10,258	—	10,258
セグメント利益	2,794	970	3,764	△260	3,503
金融収益	—	—	—	—	2
金融費用	—	—	—	—	195
税引前中間利益	—	—	—	—	3,311
その他の項目					
減価償却費及び償却費	707	276	983	23	1,006

(注) セグメント利益の調整額△260百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(1株当たり利益)

	前中間連結会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年7月31日)
親会社の所有者に帰属する中間利益(百万円)	1,743	2,241
中間利益調整額(百万円)	—	—
希薄化後1株当たり中間利益の計算に使用する中間利益 (百万円)	1,743	2,241
加重平均普通株式数(千株)	24,120	24,186
普通株式増加数		
新株予約権(千株)	387	330
希薄化後の加重平均普通株式数(千株)	24,507	24,516
基本的1株当たり中間利益(円)	72.29	92.67
希薄化後1株当たり中間利益(円)	71.15	91.42

(重要な後発事象)

該当事項はありません。